

# 福田寺だより

発行

神奈川県小田原市飯田岡二五七

飯田山 恒備 田 圭寺

住職 橋 本尚 信

## 地獄と無常

### — 東日本大震災 —

三月十一日の東日本大震災は復興の遅さから日本国を混乱と閉塞感を持たせたまま現在に至っています。私は大震災の数日後には、恐ろしいほどの無常感と地獄絵が脳裏に焼き付いていました。日頃人の死に接する機会が多く、人生は無常であることは常に感じている訳ですが、一瞬にして二万人近い人の命が不条理に奪いさられていく現実を見せられて

他の言葉が見つかりませんでした。否、その様な言葉で現実から目を背けようとしていたのかも知れませんが、地獄の思想は人間が現実を経験したことを言い伝え言い伝えしたものがあのような恐ろしい世界として造り出されたのだと確信しました。今でこそ私たちはリアルタイムで災害の恐ろしさを映像で見ることが出来ますが一世紀前までは現実に

災害を経験した者以外は生き残った体験者から伝えられ伝えられして知るしかありません。何代にもわたって言い伝えられた災害の恐ろしさがあのだ地獄の世界を作り上げて来たのでしょうか。つまり地獄は実際にあるのです。

ところで震災から数か月経って、ある有名な宗教学者であり民族学者であるY氏が東日本大震災から無常と地獄を見た私と全く同じ様なことを何かの記事に書いていました。私はその記事を見て何か違うと感じました。おそらく記事の内容が何か他人ごとで空々しく感じられたからでしょう。特に無常という言葉は軽く使うべき言葉ではないとつくづく思い知らされました。

仏教はお釈迦様が人生(世の中)は無常であると感じ出家したことから始まります。無常とは仏教の根本理念の一つでもあります。

無常とはこの世のすべてのものが一時として留まらず変化しているとい

うことです。その代表が私達の命で

あります。私達の命は心身共に常に

変化して留まることありません。他

にも幸せと思う生活、不幸な生活、

仕事も家族も人との関わりも、あり

とあらゆるものが一瞬一瞬変化して

います。このあらゆるものが変化し

て行くことを全身で感じ取ることが

無常感であります。仏教はこの無常

を徹底的に感じる事により物質や物

事の事象に執着しなくなる、執着が

無くなると欲も無くなり苦しみから

解放され、無上の喜びを得る事がで

きる、と教えています。

真言宗（弘法大師様）の教えは、

欲を捨て去るものでなく依り積極的

に人生を肯定し、与えられた命を如

何に生かしていくかというもので、

無常とは反するように思えます。

しかしお大師様も若い頃から無常を

強く感じていたことはその著作物か

ら解ります。

東日本大震災により日本人の心の

中にいろいろな変化が生じたものと

思います。その根幹に無常感が漂っ

ていることも事実でしょう。大事な

のは無常感を閉塞したままにしてお

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

### 納骨堂建設

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

ご心配かけています納骨堂建設で

すが、お寺の敷地整理が行政側とも

調整ができ、ほぼ最終段階になっ

てまいりましたが、更に国有官地の払いさ

げ問題が発生しこの処理に時間がか

かってしまいました。この原稿を書

いている最中に依頼している調査士

さんから許可が下りた旨の連絡が入

りました。今しばらくお待ち下さい

納骨堂を希望される方は引き続きお

気軽に相談ください。お知り合いの

くのではなく、無常感を徹底的に突  
き詰めていくと、そこには執着から  
解放された開放された世界がある  
ことを知る事だと思えます。与えら  
れた命を存分に生かして行くのでは  
ありませんか。

### お待ち下さい

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

らお寺に相談するように勧めてあげ  
て下さい。

### 仏教相談

誰でも気軽にどうぞ

勿論檀家さん以外でも仏

事に関して、どうしたらよ

いのか？ どんな些細な事

でもご相談ください。

電話0465-3612755

福田寺

\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*



新年厄除け薬師護摩供養

申し込み受付中

一月八日午後一時より修行

記

恒例の新年厄除け護摩を一月八日午後一時より修行致します。護摩を

焚く修行は、近年いろいろな所でさ

れていますが、正統に受け継がれて

いるのは密教寺院であります。福田

寺は、京都・東寺を本山とする真言

密教の寺で、創建以来八百七十年余

密教寺院としての歴史を刻んで参り

ました。

檀家以外の方でも勿論結構ですの

で、皆様お揃いで新年の護摩供養に

お参り下さい。

期日：一月八日、午後一時より

祈祷料：三千円

祈祷内容：厄難消除（厄よけ）

身体健全、病魔退散、家内安全、

交通安全、商売繁盛、業運繁栄、

学業成就、合格祈願、安産祈願、

子授け祈願、その他

申し込み：一月六日まで、電話可

電話 0465(36) 2755

FAX 0465(37) 6688

平成二十四年厄年

男性

前厄 昭和四十七年生まれ

本厄 昭和四十六年生まれ

後厄 昭和四十五年生まれ

女性

前厄 昭和五十六年生まれ

本厄 昭和五十五年生まれ

後厄 昭和五十四年生まれ

二九日祈願

除夜の鐘とともに、本堂の扉を開けておきます。

午前0時より1時まで、住職により新年の御祈祷が修法されます。ご自由に参拜ください。

昔暮れのお参り

古い護摩札やお守りなどは、暮れのお参りの時に、本堂入り口に用意された納め場所に納めてください。特に大きなものや、燃えないものは連絡下さい。

年回のお告知りせ

来年度の年忌（年回）法要の張り紙を本堂に掲げておきますので暮れのお参りのときに自分の家の年忌を確認して下さい。年忌に相当している場合、法要の日取りを早めに連絡して下さい。